



—東地中海地域ニュース—

ヨルダン、シリア、レバノンおよびトルコの各運輸大臣による経済面での協力に関する会合
(3日、6日付ヨルダン・タイムズ紙)

5日、アンマンにおいて、ヨルダン、シリア、レバノンおよびトルコの経済面での協力に関する会合が開催され、各国の運輸大臣が出席した。3日および6日付ヨルダン・タイムズ紙は、ヨルダンのバダーイネ運輸大臣などの発言を引用しつつ、概要以下の通り報じた。

1. 4カ国間のパートナーシップ委員会の設置は、4カ国間の経済統合を促進し、自由貿易地域 (Free Trade Zone) の設立を促進するだろう。本会合は、2010年9月、ニューヨークで開催された4カ国外相会談に続いて実施されるものである (3日付)。
2. ベイルートでは3日、4カ国の貿易省の代表が、自由貿易地域の設立に関する協議を開始するために会談する。今年中にダマスカスで開催される第2回閣僚級会合において、4カ国の産業貿易大臣に対して提言が提出される予定である (3日付)。
3. 4カ国は、経済統合を達成するために合同で部門別に見通しを立てることになる。ヨルダンは運輸部門、シリアはエネルギー部門、レバノンは観光部門、トルコは産業部門を検討することを委ねられた。集中的な技術会合の後、4カ国は高級運営委員会および他の技術的委員会の形態を規定するコミュニケに署名した (6日付)。
4. 同会合とは別に、ヨルダンとシリアの運輸大臣は、ヨルダンとシリアの陸上運輸会社の理事会の覚書に署名した (6日付)。
5. ヨルダン、シリアおよびレバノンの運輸大臣は、地域鉄道連結計画案および技術的な課題に関する共同調査への資金供与に関する協力協定に署名した。トルコの運輸大臣は、各国間のより効率的な連携を達成するためには政治的な意志が重要であると強調しつつ、南北間の経済統合を達成するためには各国がそれぞれインフラを整備することになると述べた (6日付)。
6. ヨルダンのリファイー首相は、ヨルダンを訪問中の各運輸大臣と会談し、4カ国間の運輸面での協力を強化していく方途について協議した。その中でリファイー首相は、地域鉄道計画に焦点を当てることの重要性を強調しつつ、その経済および商業的な重要性を強調した。また同首相は、ラテンアメリカ諸国に在住しているアラブ人とトルコ人が必要とする移動を可能にするため、ラテンアメリカ諸国と航空協定を拡大する可能性について、各運輸大臣に調査するよう促した (6日付)。